

東海再処理施設の廃止措置に係る技術検討会議（米国委員会会議）の開催について

当機構では、大型核燃料サイクル施設として国内初となる東海再処理施設の廃止措置を進めるにあたり、国内外の外部有識者を委員とする「東海再処理施設の廃止措置に係る技術検討会議」を開催しており、昨年2月の仏国委員、7月の英国委員に引き続き、米国エネルギー省（DOE）ウェストバレー実証プロジェクト部長 Bryan Bower（ブライアン・バウアー）氏をお招きしての技術検討会議を2月25日（火）から3日間開催しました。

今回の技術検討会議では、米国再処理施設での廃止措置プロジェクト管理、施設の解体、廃棄物の処理等で得られた豊富な経験を紹介いただくとともに、東海再処理施設の廃止措置計画等への安全・コスト・マネージメント等の面から助言及び提言をいただきました。



技術検討会議の開催風景



東海再処理施設の施設見学の様子



米国エネルギー省（DOE）の Bryan Bower 部長によるご講演風景

以上